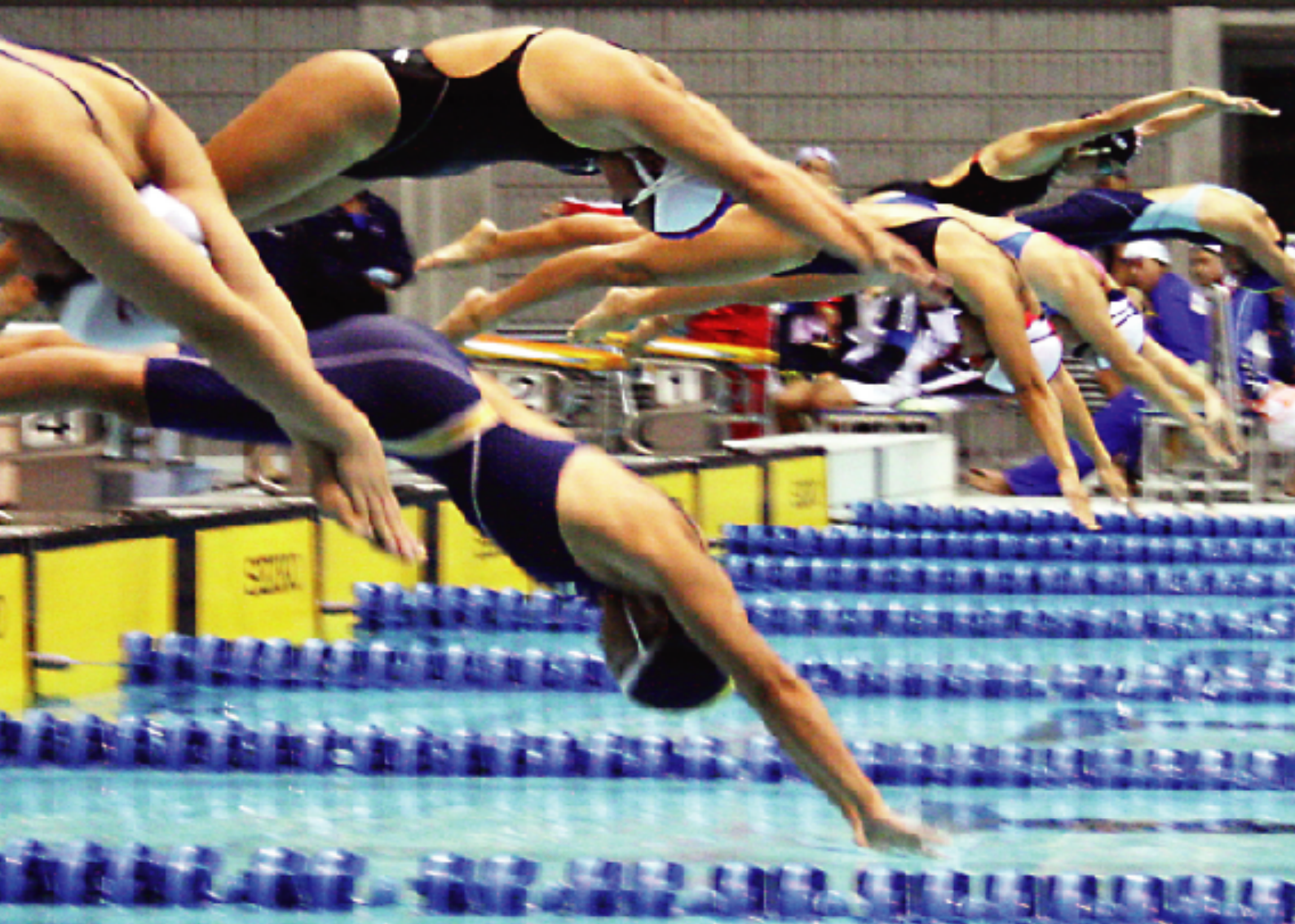


PIER 2

神奈川の海を守り、地域に貢献するライフセーバーによる情報誌

2007年度 神奈川県ライフセービング室内選手県大会リザルト掲載

LifeSaviny
Champion Ship



神奈川県ライフセービング連盟に加盟のクラブ(順不同)

■横浜海の公園サーフライフセービングクラブ
■三浦海岸サーフライフセービングクラブ
■茅ヶ崎サーフライフセービングクラブ
■湘南ひらつかライフセービングクラブ
■鎌倉サーフライフセービングクラブ
■文教大学ライフセービングクラブ

■二宮ライフセービングクラブ
■辻堂ライフセービングクラブ
■葉山ライフセービングクラブ
■逗子ライフセービングクラブ
■大磯ライフセービングクラブ
■玉川ライフセービングクラブ

■西浜サーフライフセービングクラブ
■湯河原ライフセービングクラブ
■サーフ90ライフセービングクラブ
■東海大学湘南校舎ライフセービングクラブ
■専修大学サーフライフセービングクラブ
■鎌倉ライフガード

VOL. 12



Life Saving Champion Ship

2007年度 神奈川県ライフセービング室内選手県大会

■場所:相模原グリーンプール
 ■日時:2007年11月18日(日)
 ■エントリー:チーム33チーム 一般481名 オープン23名 ジュニア58名 合計562名

100m障害物スイム(女子)			100m障害物スイム(男子)			
1	加藤 みづき	東女体大	1'05"84	1	廣重健太郎 早稲田	57"47
2	伊藤 彩香	九十九里	1'06"50	2	田中宏治 銚子LC	58"33
3	秋元 里江子	日本女子体育大学	1'07"70	3	井口明彦 日大SLSC	58"70
4	太田 奈々	鴨川	1'07"95	4	小林弘幸 国士館	59"15
5	鈴木 ひとみ	日本女子体育大学	1'08"13	5	渡辺拓磨 東海大CREST	59"49

50mマネキンキャリー(女子)			
1	小松崎あゆみ	東女体大	44"31
2	加藤みづき	東女体大	44"65
3	京谷真有	西浜	44"77
4	青木麻佑美	和田浦	45"48
5	江藤理恵子	専修SLSC	46"22

50mマネキンキャリー(男子)			
1	長井隆昌	早稲田	37"12
2	佐藤祐	日本体育大学	37"35
3	西條拓一	玉川	37"47
4	森洋行	新島	37"54
5	中島章	新島	37"55

100mマネキンキャリー-with fin(女子)			
1	岡村綾乃	東海大CREST	1'12"40
2	三浦貴絵	東女体大	1'15"07
3	原怜来	早稲田	1'15"56
4	山田桃子	大竹	1'17"01
5	山口綾香	鹿嶋	1'17"74

100mマネキンキャリー-with fin(男子)			
1	高橋崇	新島	59"73
2	山本一貴	大竹	1'00"14
3	中村公彦	大竹	1'01"54
4	鈴木伸也	茅ヶ崎	1'02"98
5	小林弘幸	国士館	1'04"17

4x25mマネキンリレー(女子)	
1	東女体大 A 1'59"50
2	東海大CREST D 2'01"60
3	大竹 A 2'05"20
4	日本体育大学 F 2'07"89
5	日本体育大学 C 2'09"90

4x25mマネキンリレー(男子)	
1	大竹 A 1'37"04
2	西浜 1'38"68
3	東海大CREST A 1'43"17
4	日本体育大学 J 1'43"79
5	早稲田 A 1'49"70

4x25mメドレーリレー(女子)	
1	東女体大 A 1'54"22
2	日本女子体育大学 A 1'58"95
3	日本女子体育大学 B 2'00"56
4	東海大CREST F 2'00"83
5	日本女子体育大学 C 2'02"93

4x25mメドレーリレー(男子)	
1	日大SLSC A 1'37"66
2	日本体育大学 E 1'41"93
3	新島 A 1'42"16
4	早稲田 A 1'42"34
5	大竹 A 1'43"32

赤字は大会新記録です。

○ 主な役員は?
A 現在の会長は Alan B. WHELPTON, AOJ(オーストラリア)。副会長は(女)は4つの地区(アメリカ地区・アメリカ地区・アジア太平洋地区・ヨーロッパ地区)の会長(Gen. Dr. Yousery DAWOUD, PhD(シリア)・B. Chris BREWSTER(メキシコ)・Robert BRADLEY(オーストラリア)・Dr. Klaus WILKENS, PhD(ドイツ)・事務総長は Dr. Harald VERVAECKE, PhD(ベルギー)。その他各地区の Full Member 国の数によって計11名の理事により ILS 理事会が構成されています。本年7月にハルリンで開催される ILS 総会では役員改選のための選挙が行われます。

○ 何カ国が加盟しているの?
A Full Member(フル加盟)している国はアメリカ地区3カ国(3団体)、アメリカ地区10カ国(10団体)、アジア太平洋地区16カ国(17団体)、ヨーロッパ地区36カ国(37団体)、合計65カ国(67団体)(2008年現在)。総会における投票権を持たない Associate Member(アソシエイト)4カ国(5団体)があります。

○ 本部はどこにあるの?
A 現在はベルギーのLeuven(フランドル)都市・Belgian Life Saving Federation(本部)を置いています。

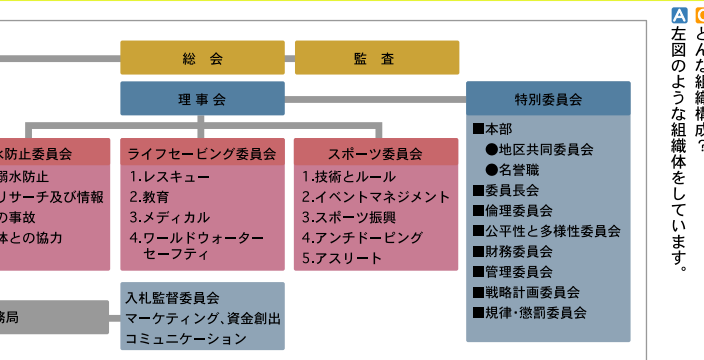
○ いつ設立されたの?
A 1993年にヨーロッパ諸国を中心に組織された国際連盟 ILS(International Federation of Sauveteurs Aquatiques)と環太平洋諸国を中心に組織されていた WLS(World Life Saving)が合同で総会を開催して翌1994年6月5日に ILSとして設立されました。初代会長は Kevin WELDON, AM(オーストラリア)が就任。1996年12月2000年に ILS 現会長 Alan Brian WHELPTON, AOJが第3代を務めています。JLIS(その前身)日本ライフガード協会(日本ライフセービング協会)が時代から WLS加盟してからの ILS 設立と同時に自動的に ILS Full Member となりました。

ちー先生の
ワールドレポート

International Life Saving Federation
の豆知識特集

相澤千春
 神奈川県ライフセービング連盟 理事
 日本ライフセービング協会
 情報戦略・国際交流担当
 株式会社D's Life 取締役

○ ILSの活動はどのように計画されるの?
A ILS Strategic Planning Sessionが開催され、理事・委員会メンバーを中心に4年毎のプランが討議され、総会で発表されます。このセッションには Full Member であれば代表が参加し討議に加わることができます。また、プランに掲げられた各項目について、当該4年間にどの程度目標に到達するかができたかの検証もしっかりと行われます。昨年9月末にホルタルで開催されたセッションでは、2008~2012年のプランが立てられ、この夏ハルリンで開催される ILS 総会で発表される予定です。



ILSのウェブサイト、もちろん英語ですが、ぜひ時々のでいてみてください。 <http://www.ilsf.org/>



夏を前に子供達を守る活動を!

教育が変わる、Jライフセービングも変わる!

教育基本法改正 学校教育法を始める教育三法の改正「生きる力」、学習指導要領 全国学力学習状況調査、P・I・S...。これらの事業をしっかりと受け入れ、説明できる方は教育関係に相当の見識があるといひ、説明できない方は、小学生や中学生のジュニアライフセーバー、指導者の方、指導者の皆さんが関係することが国や地域レベルで変わらなくてはなりません。ではいったいどのように変わっていくのでしょうか?今日は子ども達の姿を背景に文部科学省が行った改正を中心に皆さんで確認していきましょう。

求められる子ども達の姿とは?

60年ぶりに教育基本法が改正されました。と言われている教育基本法って何?教育基本法は、日本国憲法の精神のこの国々の未来を切り拓く、教育の基本を確立して、しっかりと広めるための法律なんです。少子高齢化とか地球環境問題、国民意識の変化などが進む中で、21世紀を切り拓く豊かな国を、まっすぐに日本人の育成で求められた結果、60年ぶりの改正になったのです。

教育基本法が改正されたので、その目的を実現するために、学校教育法や他の法律も改正されました。そのようにして、文部科学省は子どもたちに「生きる力」を育む教育を進めています。

「生きる力」の言葉は、是非覚えておきましょう。この言葉は学校の先生もよく知っていますが、地域の方や保護者の方も知っていないと子ども達の教育は話せません。ましてジュニアライフセービング育成に関わっているのにこの言葉を知らなければ、CPBを知らないライフセーバーと同じです。

「生きる力」とは、子どもたちの資質・能力豊かな人間性、健康や体力を指しています。具体的には「基礎基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようとする中で、自ら課題を見つけて自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよくなる問題を解決する資質や能力」「自らを律し、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性」「たくましく生きるための健康や体力などを指しています。

つまずき、小学校や中学校などで国語、算数、数学、体育等の授業内容や授業数を考えたり、授業参観をやったり、運動会や合唱コンクールをやったり、いけないことをしたら先生に指導されたり、先生方が研修をしたりするのは、「生きる力」を育むためなんです。しかし、「生きる力」って、ライフセービングにどう関係するのでしょうか?と思いませんか?そう思うのは私だけですかね?

生きる力とライフセービング

世の中が皆さんに求める事、生きる力を育むことが教育の現場で進められますが、私達の陥りやすい状況のひとつに、「何で学校に任せる事が挙げられます。しかし、これからは学校が悪い、先生が悪いなんて言ってばかりいる」と私達自身の教育観、ライフセービングに携わる姿勢が疑われます。改正教育基本法の中に新たに「生涯教育の理念(第二十九条)」「家庭教育(第三十一条)」が謳われました。(第二十九条、国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたってあらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。第三十一条：父母その他の保護者は、子の教育に第一の責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めることとする。)

生涯を通じた学習の必要性(実践が明確に打ち出され、皆さんに置かれたライフスタイルやキャリアアステージにおいて、ライフセービングがその役割を担うことができる)と考えます。

オーストラリアなど諸外国を視ればわかるように、ライフセービングは、まさに生涯を通して必要とされるものと認識しているのは私だけではないと思います。家庭教育については、最近よく耳にする「モンスターパーンツ」の問題などがあります。この第十條は、子ども達の教育は保護者の責任において、しっかりと行うことを再認識させられるのです。あなたもテレビを観ている観客者のように自分の子どもに教育にヤジをこぼしたり、傍観者をやったりすることは許されません。これからは、ライフセービングを指導する我々も、何から何までしてあげることを慎重な必要となつてきます。

ライフセービングの世界基準と合わせると、世界の中心の日本はどのように映っているのでしょうか?ライフセーバーの立ち振る舞いや保護者の取り組み、世の中の諸問題に対する考え方や取り組みは、世界のライフセーバーと意見を交わすことが出来るのでしょうか?そんな心配をするのは私だけかな不安なのですが、

神奈川県教育委員会の取組み

神奈川県教育委員会を中心として、「子ども達の海水辺の安全教育の推進」についての具体的な取組みがスタートしました。この取組みの趣旨は以下の通りです。

■趣旨：警視庁の調べによると、全国で毎年、6月、8月の2ヶ月間だけで、200人を超える中学生以下の子ども達が水難事故に遭っている現状があります。この神奈川県でも痛ましい事故が発生しています。県教育委員会

あなた自身が課題を探そう

これからのライフセービングは、社会に目を向けなければいけません。ジュニアだ、競艇だ、パトロールだ、エリートライフセービングばかりを見ていては、いけません。社会が良くなり、ライフセービングの世界に埋没している物が見えなくなります。

間違った方向性や不祥事の背景には、そのようなことがあり、これからは、ジュニアの流れを教育界に芽生えさせるために、社会とのバランスの中で、ライフセービングに携わる我々がどうのように振り返りを行い、課題を持つことができるかが今後、特に重要となると思います。ライフセーバーの皆さん、一緒に取り組んでいきましょう!

県教育委員会の安全教育推進姿勢と問題意識の共有については、全国でも画期的な取り組みと言えるでしょう。オーストラリアのサーフェテクニクシヨンプログラムと同等以上のものと考えています。今回、県教育委員会と県連盟とのような取り組みが成されていくことを初めて知った方も多いいのではないのでしょうか?

この取り組みの中で、関係団体と連携した新たな取り組みとして、神奈川県ライフセービング連盟との連携が謳われました。凄いいことですよ!具体的に

①海水辺の安全教育プログラムへの提供

②海水辺の安全教育プログラムへの講師派遣

③指導者研修会への講師派遣など

そして、神奈川県ライフセービング連盟のプログラム一覧が約10ページの資料となり各教育委員会、地域に配布されました。

今後は、県連盟と各クラブ協力して安全教育推進に協力していきます。この推進プログラムに本連盟が協力できることは、まさに「生きる力」を育むことにほかなりません。

水辺の安全教育2008

既に総会でお知らせしたとおり、今年から神奈川県教育委員会保健体育課と神奈川県ライフセービング連盟は協力して、県下の小中学校の体育授業の一環として、地元ライフセービングクラブが「水辺の安全活動」を実施することになりました。

近日中に県下の各市町村の教育委員会と各学校からのオファーを受けて、地元ライフセービングクラブは「ジュニア」などで行っている「ジュニアライフセービング」教室の内容を中心に、各学校でライフセービングを教えることになりました。

昨年夏休み前に依頼のありました茅ヶ崎市立の中学校で、事故防止などについてライフセービングの講義を行いました。その後、藤沢と平塚の河口で地元の小中学校が流され、亡くなる悲しい事故が発生しました。河口特有のリップカレントを学校や親から学んでいれば、また500円は泳げるくらい泳力が備わってれば助かったと思われれます。しかし事故は予想できないから起こります。海のことをよく知らない彼らには、河口は超怖い安全な深さに感じられたのかも知れません。社会全体で子供達を水辺の事故から守ることはとても重要なことであり、また緊急性のあることでもあります。

子ども達の海(水辺)の安全教育の実施

目的:児童・生徒が自ら危険を回避し、海辺の活動を安全に楽しむ力を身につける。

中学校 864校	小学校 414校	合計 1,278校
海での安全教育 自然も活用し環境を大切にした安全教育の実施 ●海の安全教室 ●J・ライフセービング講習 ●安全対策のサポート ●海の安全についての指導	学校での安全教育 学校のプールでの講習や授業の実施 ●夏休み前夜の海の安全教室 ●海の安全にかかわる講義 ●水上安全法:心肺蘇生法の講習 ●教員向け安全講座	
県教育委員会とライフセービング連盟の共同事業 ●海の安全教育プログラムの開発 ●学校現場での意見交換 ●学校への講師派遣 ●事故防止と効果的指導法の協議 ●人材育成と教員スキル向上		

力強い勇気を県下の子供達へ

一方、六本木ヒルズの回転トピアに男児が挟まれた事故、厄崎市の列車転覆事故、房総半島沖でイージス艦が漁船と衝突した事故などは、すべてがヒューマンエラーであり、事故が発生する前には必ず予兆現象が見られたはず。1対29対3000のインシデントの法則。重大な事故の労働災害が発生する前には、29件の小さな怪我を伴った発生しているという統計から生まれた有名な法則です。また遠足に児童100人を連れて行くこと必ず1人くらいはお弁当のお着を忘れてしまうので、教師は必ず児童数に合わせて何本かの箸を予備に持っていくという、お箸の法則なるものもあります。

つまり人間は必ずミスを起こす動物なのです。ミスをしない完璧な人など、この世にいません。よって、悪質な不正行為を除いて、社会としてヒューマンエラーに、いかに未然に防い、事故防止、またミスが発生しても最小限に抑えるかが問われます。

思いやりを持ったWチエックは、事故を未然に防ぐために留まらず、人と人のコミュニケーションを円滑にし、いかに社会を築くものと思われ、また、何事も、勇気を持つことは大切ですが、他人を助けるには力強い勇気が必要です。我々が「スピード」で培った「力強い勇気」を、県下の子ども達に授けてあげてください。

リップカレント、セルフレスキュー、CPR、FAを教えることも大切ですが、根底にヒューマンエラーを前提に、勇気をもって他人に優しく温もりのあつて住みやすい社会を築くこと、他人に優しく温もりのあつて住みやすい社会を築くこと、他人を助けるには力強い勇気が必要。我々が「スピード」で培った「力強い勇気」を、県下の子ども達に授けてあげてください。

水の事故ゼロ

神奈川県教育委員会 ライフセービング連盟

既に総会でお知らせしたとおり、今年から神奈川県教育委員会保健体育課と神奈川県ライフセービング連盟は協力して、県下の小中学校の体育授業の一環として、地元ライフセービングクラブが「水辺の安全活動」を実施することになりました。

近日中に県下の各市町村の教育委員会と各学校からのオファーを受けて、地元ライフセービングクラブは「ジュニア」などで行っている「ジュニアライフセービング」教室の内容を中心に、各学校でライフセービングを教えることになりました。

昨年夏休み前に依頼のありました茅ヶ崎市立の中学校で、事故防止などについてライフセービングの講義を行いました。その後、藤沢と平塚の河口で地元の小中学校が流され、亡くなる悲しい事故が発生しました。河口特有のリップカレントを学校や親から学んでいれば、また500円は泳げるくらい泳力が備わってれば助かったと思われれます。しかし事故は予想できないから起こります。海のことをよく知らない彼らには、河口は超怖い安全な深さに感じられたのかも知れません。社会全体で子供達を水辺の事故から守ることはとても重要なことであり、また緊急性のあることでもあります。

将来のライフセーバーを育む

人に教えることは、指導者自身を成長させることでもあります。県下の小中学校での水辺の安全活動が、勇気あるライフセーバーをさらに成長させ、その組織を強くして、ライフセービングが広く社会に受け入れられるようになることを願ってやみません。

最後に、何年かのち、教えた生徒の中から地元の水辺にライフセーバーとして加わることを夢見つつ、県下のライフセーバーの皆さんの活躍を心からお祈りしています。

加藤道夫
神奈川県ライフセービング連盟理事長
サージェント代表取締役

ATHLETE VOICE **アスリートボイス** Vol.04

ライフセービング活動の発展に向けて

オーストラリアではライフセーバーは、日本では警察官や消防士などと同じくらい尊敬される職業の一つです。競技でもアイアンマンの優勝者は『キング』と呼ばれるほど英雄として迎えられる。日本でのライフセービングは監視員としての活動は徐々に世間に知られてきていますが、競技があるということは殆んど知られてなく、競技者の大半は大学生になって知った人に留まってしまっている傾向にあると思います。ライフセービング活動の歴史の違いもあると思いますが、そこが日本とオーストラリアの違いであり、競技力でも差が出てしまおうところなのだと感じています。近年日本でもジュニアプログラムとして、ライフセービングを教えるクラブが増えてきています。このようにオーストラリアをお手本にし、小さい頃から子どもたちがライフセービングに触れ、海などの自然に触れることによって日本でのライフセービングも大きく発展していくのではないかと思います。しかし、『スポーツ』として子どもたちが続けていくためにはライフセービングの理念だけでなく、子どもたちから目標とされ、憧れられるライフセーバーの存在が必要です。ライフセービング活動が少しずつ注目をされ、大会などが報道されている今が一番『チャンス』だと思っています。私は、子どもたちがライフセービングを知り、始めるきっかけ作れるようなライフセーバーを目指して、活動をしていきたいです。

三木玲奈(20歳)
湯河原ライフセービングクラブ
東海大学湘南校舎ライフセービングクラブCREST

- 大会成績
- 2007年全豪選手権出場(U-22)
- 三洋物産インターナショナルLifeSavingカップ出場(U-22)
- 2007年サーフチャレンジ出場(U-22)
- 神奈川県LifeSaving選手権大会サーフレース2位
- 全日本学生LifeSaving選手権大会アイアンウーマン優勝
- サーフレース4位



講習会を受講しよう!



今回はベーシックライフセーバー、アドバンスライフセーバーで用いるテキスト(教本)についてお話しします。皆さんが「ベーシック・サーフライフセーバー講習会」を受けた時のテキストは、どのようなものを使用していましたか? わら半紙をホットキス止めただけのテキスト? ファイルでま

とめられたテキスト? それともしっかりと製本されたテキストでしたか? これまで色々な形のテキストを講習会では使用してきました。

講習会テキスト刷新!

今年度、日本ライフセービング協会ではベーシック等のサーフにおける講習会にて、新しいテキストを用いて実施します。製本されたテキストで、写真や図、表を増やし、分かりやすくなっています。一般販売もされる予定で、本屋さんで目にすることもあるかもしれません。



ライフセービング活動を長年続けて来られた諸先生、諸先輩方の手によって作られていますので、各章しっかりとまとめられており、大変興味深いものになっています。いつになっても、皆さんが「安全に、確実に、同じ知識・技術、そして同じ想い」で、ライフセービング活動を続けるためには、「ライフセービング概論」や「レス

キューや心肺蘇生法等の知識・技術」などテキストやカリキュラムでしっかりと定め、講習会を通じて普及していくことはとても大切です。そして、このテキストを用いて指導するインストラクターも大切な存在。一昨年度、昨年度と「インストラクター養成講習会」を協会では実施してきましたが、今年度も予定しておりますので、挑戦してください。ライフセービングの大切な知識や技術、スピリットを未来に繋げることは大切であり、そのためには「テキスト」そして「インストラクター」どちらも必要不可欠ですね。

「CPR講習会」は受講しましたか?

神奈川県ライフセービング連盟では、今年度も講習会を開催いたします(下表参照)。「ベーシック講習会」、「アドバンス講習会」、「更新講習」、「CPR講習会」等を開催いたしますので、HP(<http://www.lifesaving.ne.jp/>)をチェックし、トライしてみてください。

資格認定講習会のご案内 会場:湘南サーフビレッジ

アドバンスⅠ	終了		
アドバンスⅡ	10月25日、26日	11月1日、11月2日	
ベーシックⅠ	6月1日、14日、15日、21日、22日		
ベーシックⅡ	6月21日、22日、27日、28日、29日		
ベーシックⅢ	9月6日、7日、19日、20日、21日		
更新講習Ⅰ	終了	CPR講習会Ⅰ	終了
更新講習Ⅱ	終了	CPR講習会Ⅱ	終了
更新講習Ⅲ	6月29日	CPR講習会Ⅲ	9月7日
更新講習Ⅳ	10月26日	CPR講習会Ⅳ	11月30日
更新講習Ⅴ	12月20日		

県内の海水浴場、スポーツ施設、駅、学校など、多くの施設にAED(自動体外式除細動器)が設置されてきております。誰もが「CPR(心肺蘇生法)」と「AEDを用いた除細動」ができるようになっておきたいですね。皆さんの積極的な受講者お待ちしております。 内田直人



ライフセービングクラブ紹介



西浜ライフセービングクラブ

NPO法人西浜サーフライフセービングクラブは、1960年から行われている藤沢市片瀬西浜海岸での夏季水難救助活動ベースとしたライフセービングクラブです。2003年にNPO法人化し、海岸をはじめとする水辺の環境保全、安全指導、監視・救助活動を行うライフセービング活動の普及・発展に関する事業を行い、一般市民の安全かつ快適な水辺の利用と青少年の健全育成に寄与することを目的として活動しています。現在、当クラブの活動は、主に教育・競技・パトロール・ビーチクリーンに分類されます。競技活動は、2006・07年に全日本LS選手権総合連覇し、日本代表選手も多く輩出しています。教育活動は、ジュニアライフセービング教室に力を入れており、年間を通じたジュニアプログラムを行っています。さらに藤沢市の小中学校などを対象に1日体験プログラムも実施しています。またベーシック・CPR・更新講習会なども開催しています。パトロール活動は、片瀬西浜・東浜・岩屋を中心に、江ノ島ドラゴンポイントレース、追浜トライアスロン、全日本LS選手権などのサポートも行っています。ビーチクリーン活動は、2000年より年間を通して毎月1回片瀬西浜でビーチクリーン活動を行っています。今年からは片瀬東浜でも開催する予定です。さらに年2回江ノ島周辺までパドルしてオーシャンクリーン活動を開催しています。現在会員数は正会員140名・ジュニア会員52名。特にジュニア会員は近年大きく増加しています。2007年8月に引地川河口で地元の中学生2名が亡くなる痛ましい事故が発生してしまいました。まだまだ出来ること、やらなければならないことが沢山あると痛感しています。伝統のある西浜ですが、それに驕ることなく、あくまでも謙虚な姿勢で、継続をする事の難しさや大切さを振り返りながら新しい事に対するチャレンジ精神も忘れずに『チームNISHIHAMA』ががんばっていきたく思います。 関岡隆宏

報告記事 2008パトロールミーティング

3月9日県立湘南海岸公園サーフビレッジにて、「パトロールミーティング」が行われ、各クラブより責任者やクラブ代表などが集まりました。ミーティングでは、人員不足などの問題点の共有、各浜での活動の紹介、クラブ間交流等について意見が交わされました。また昨年、各浜において監視責任者として活躍された皆さんに賞状を進呈しました。



報告記事 総会開催の報告

本年度の神奈川県ライフセービング連盟総会を3月9日に湘南サーフビレッジにて開催しました。加盟18クラブのうち11クラブ(うち委任2)と連盟理事の参加により、前年度の事業報告および本年度の事業計画の議案承認が行われました。

PIER もっと地域に貢献したい。もっと多くの方々に私たちの活動を知って頂きたい。あなたにもライフセービングという活動に参加して頂きたい。そんな思いから、情報誌「ピア01」を発行しています。

特定非営利法人 **神奈川県ライフセービング連盟**

〒251-0046 神奈川県藤沢市辻堂西海岸3-1-1 辻堂海岸ビル2F
TEL:0466-34-2243 FAX:0466-34-2257
URL:<http://www.lifesaving.ne.jp/> Mail:kanagawa@lifesaving.ne.jp

三洋物産は日本ライフセービング協会のオフィシャルパートナー